

(別紙6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月24日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0770401651 | | |
| 法人名 | 株式会社 愛心会 | | |
| 事業所名 | ほっとファミリーぞうの目2 | | |
| 所在地 | 福島県いわき市平下神谷字後原47番地の1 (電話)0246-57-0202 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 福島市渡利字七社宮111番地 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年12月20日 | 評価確定日 | 平成20年1月28日 |

【情報提供票より】(19年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|--------|-------------------|
| 開設年月日 | 平成14年9月28日 | | |
| ユニット数 | 1ユニット | 利用定員数計 | 9人 |
| 職員数 | 9人 | 常勤 | 9人, 非常勤 人, 常勤換算 人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|------|
| 建物構造 | 平屋 | 造り |
| | 1階建ての | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|-----------------|------------|------------|-------|------|
| 家賃(平均月額) | 42,000円 | その他の経費(月額) | 円 | |
| 敷金 | 有(円) | 無 | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 500円 | 昼食 | 500円 |
| | 夕食 | 500円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

| | | | | | | |
|-------|----|------|----|-----|----|------|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 3名 | 女性 | 6名 | |
| 要介護1 | | 要介護2 | | 3名 | | |
| 要介護3 | 3名 | 要介護4 | | 2名 | | |
| 要介護5 | 1名 | 要支援2 | | | | |
| 年齢 | 平均 | 87歳 | 最低 | 82歳 | 最高 | 100歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------|
| 協力医療機関名 | かしま病院 |
|---------|-------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は旧道の近くに立地しており、家庭的な雰囲気を利用者、職員ともにゆったりと過ごしている。また、お店なども歩いていける所にあり、交通の便が良い上に環境的には静かな場所に位置している。建物は出来てまもないこともあり、内外ともにとてもきれいだ。運営推進会議の開催も毎月実施されており、地域住民も含めた利用者のサービス向上に努めており、中でも殆どの利用者が参加する小旅行などは家族からも大変喜ばれている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 共用空間における居場所の確保・定期健康診断の支援などについても利用者の立場にたった支援に改善している。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 管理者は、評価の主旨や意義について全職員に伝えている。自己評価については職員も参加しサービスの質の向上に努めている。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5) |
| | 運営推進会議は毎月開催されており、地元区長や地域包括支援センター職員も参加して、サービス提供の内容等について報告し、意見等をいただいている。また、運営推進会議の記録などもきちんと整備している。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 家族来訪時に苦情・不安などの意見を聞いたりしている。また、家族会を設置し、意見等を把握している。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 日頃から近隣のお店などを利用し、買い物に出かけたり、近所の子も達が遊びにくるなどして地域の交流に努めている。 |

2. 評価結果 (詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「ひとりひとりの幸福感を大切に、追及していく。」という理念を掲げ、その人らしく生活出来るように事業所全体の質の向上に努めている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 運営理念は、ホームの見やすいところに明示し、職員に対しては朝のミーティング等を利用して意識付けをしている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 日頃から近隣のお店などを利用し、買い物に出かけたり、近所の子供たちが遊びにくるなどして地域交流に努めているが、地域の行事等への参加が少ない。 | | 運営推進会議などを活用し町内会や公民館の年間行事を把握し、参加可能なものに参加していくよう努めてほしい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者は、評価の主旨や意義について全職員に伝えている。自己評価については職員も参加しサービスの質の向上に努めている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 毎月開催の運営推進会議においても、地元区長や地域包括支援センター職員等が参加し、サービス内容や勉強会などの内容報告をし、サービス向上に活かしている。報告の中では利用者の小旅行については評価も高く今後も続けていくようにとアドバイスを受けている。 | | |
| 6 | 9 | | | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月発行しているお便り「ぞうの目2ニュース」や家族等来訪時に利用者の状況を伝えている。しかし、職員の異動などについては家族等へ報告していない。 | | 家族等へは慣れ親しんだ職員に信頼を寄せているので、異動等が生じた場合は家族等にお便り等で報告してほしい。 |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会を設け、家族等同士で話せる環境作りに努めており、家族等などから出された意見や苦情については家族会の代表者から伝えてもらっているが、苦情や意見等について話し合う機会が少ない。 | | 家族等から意見等を表明できる用紙やポストを用意すること検討してほしい。また、外部からの苦情、意見、要望などについてもミーティングで話し合い、サービスの質の向上に努めてほしい。 |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動で馴染みの関係とサービスの質が損なわれないよう、異動の場合は引継ぎを十分に行うよう配慮している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|--|---|---------------------|---|
| 5.人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人内で職員研修(年6回)や勉強会を開催するとともに、外部の認知症介護実践リーダー研修等にも参加している。 | | 研修会などに参加された後、口頭の報告だけでなくレポートでの記録等も整理するよう検討してほしい。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域のグループホーム連絡協議会に加盟し、今年度も10月に実施された認知症高齢者介護に参加し、他の事業所との交流や情報交換に努めている。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護) | | | |
| 2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 昼食時の用意や片付け等を利用者と職員が一緒に行っており、利用者本人が出来る部分は、本人のペースで行えるよう支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 食事や普段の生活の中で一人ひとりの思いや意向等を会話の中や日頃の様子等から把握するよう努めている。 | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人、家族等及び担当職員を含めた話し合いをし、利用者の情報等を調査票にまとめ、日々変わっていく生活状況に応じて、介護計画が作成されている。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用者一人ひとりの介護計画等が一目で解るようになっているため、現状に応じた対応が出来ている。また、定期的な見直しも実施されている。 | | |
| 3.多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護) | / | / | / |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族等が希望する場合は、多少遠くてもかかりつけ医で受診している。看護職員を配置しているので、医療機関との連携がよく、また家族等にも適切に身体状況を伝えている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 日頃から本人、家族、看護師、かかりつけ医との話し合いを行っており、終末期や重度化の対応についての情報を共有している。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 人前であからさまにトイレ誘導をしないなどプライバシーに配慮している。また、面会簿の作成、記録の記入や保管場所には十分気をつけている。職員からは個人情報の取り扱いについての誓約書を提出させている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 買い物や散歩など一人ひとりの体調等に合わせた支援を行っている。また、利用者の役割も決まっており、本人の気持ちを尊重した支援をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 献立作りから準備、食事、片付けに至るまで利用者が出来るところは協力をしていただき、出来ないところを支援するという姿勢で行っている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 個人の希望に合わせた時間帯での入浴を実施するようにしており、入浴を楽しめるような支援に取り組んでいる。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護) | 食事の準備等や敷地内の畑で季節に応じた作物を栽培するなどして、利用者の力を活かした支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護) | 日々の外出や近隣での買い物や散歩などを利用者も楽しみにしているのが日常的に取り入れられている。また、家族等と一緒に小旅行に出かけている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 利用者が住んでいる「家」という考えのもと夜間以外は施錠しない。安全のため、外出の際は職員が付き添うようにしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|--|---|---------------------|--|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練は年2回実施し、災害時等のマニュアルなども作成されている。ただ、地域の方々の協力を得た訓練までには取り組めていない。 | | 避難訓練を実施した際の記録の作成及び地域の方々との災害訓練なども今後検討してほしい。 |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事や水分の量などは、毎日のチェック表に記録している。職員が毎食一緒に食事を摂ることで、観察しながら摂取量を把握している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 食事・レクリエーション等は共有空間を活用している。居間にはロールスクリーンが取り付けられてあり、利用者にとって過ごしやすい環境である。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人が今まで使用していた衣類や家具、思い出の品などを持ち込み、落ち着いた生活が出来るよう工夫している。 | | |

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(別紙1)を添付すること。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 ほっとファミリーぞうの目2

記入担当者名 櫛間 美知江

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。